

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2012-186835(P2012-186835A)

【公開日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-039

【出願番号】特願2012-109795(P2012-109795)

【国際特許分類】

H 04 W 52/32 (2009.01)

H 04 W 52/08 (2009.01)

H 04 W 72/12 (2009.01)

H 04 W 28/18 (2009.01)

H 04 B 1/715 (2011.01)

H 04 L 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 4 4 4

H 04 Q 7/00 4 3 2

H 04 Q 7/00 5 6 3

H 04 Q 7/00 2 8 2

H 04 J 13/00 5 0 3

H 04 L 1/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月31日(2012.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アップリンク電力レベルを決定するための、基地局により実装される方法であって、
アップリンクチャネル上でユーザ装置(UE)から第1の通信信号を受信するステップと、

前記受信した第1の通信信号に応じて前記アップリンクチャネルのチャネル品質を測定するステップと、

前記第1の通信信号から導出される品質マージンを提供するステップと、

前記UEが前記基地局に適応変調および符号化の報告を送信すべきであることを決定するステップと、

前記UEが適応変調および符号化の報告を送信すべきであることを決定するステップに応じて、前記UEにダウンリンク制御チャネル上でアップリンクチャネルの割り振りと前記品質マージンとを送信するステップと、

前記アップリンクチャネルの割り振りと前記品質マージンとに応じて割り振られたアップリンクチャネルの少なくとも1つのタイムスロットにおいて前記UEから第2の通信を受信するステップであって、前記第2の通信は、前記品質マージンから導出される送信電力レベルにおける適応変調および符号化の報告を含む、ステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

測定された干渉と前記品質マージンとを組み合わせるステップをさらに備えることを特

徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記測定された干渉と前記品質マージンとを单一のパラメータに符号化するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。